

指定校番号	29023	学級活動	児童会	○	クラブ活動	学校行事	小学校用
-------	-------	------	-----	---	-------	------	------

平成 29 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立因島南小学校	校長	上野 克典	生徒指導主事	兼田 和佳
-----	------------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『新設校の伝統の構築 ～システムの確立とリーダー性の発揮～』

取組のねらい 『キーワード：課題解決システムの確立と6年生のリーダーシップ』

- ・児童会が主体的に問題を吸い上げ、それに取り組み解決するシステムを確立する。
- ・6年生のリーダー性を育て、それを下級生に伝えるなかで自校の校風の一つとする。

身に付させたい資質・能力

- ・課題を発見し、それを協議しながら解決していく力
- ・児童会を中心にした6年生のリーダーシップ

取組の具体的内容 『キーワード：児童会の主体的活動と6年生のリーダーシップ』

児童会本部役員の公約（子供の願い）掲示（自覚化の促進）

- ・誰もが楽しく、明るい学校にしたい
 - ・元気のよい挨拶が飛び交う学校にしたい
 - ・無言で隅々まで掃除ができる学校にしたい
- 因島南小の伝統・校風へ



※子供の願い（児童会の公約）を具現化する支援を行いながら、自校の伝統や校風に引き上げる。

①【誰もが楽しく、明るい学校】

- ・学校生活における問題点（課題）に気付かせ、それを話し合い活動を通して、解決するシステムの構築と充実

【夏季職員研修会：特別活動】



- ・夏季職員研修会で特別活動の意義や目的を職員全員で共通認識
- ・話し合い活動のレジメ（協議用シート）及び学級会のスタイルを全学級で統一し話し合い活動を充実
- ＜問題の発見・確認，議題の設定→解決に向けての話し合い＞
- ・各学級で話し合ったことを代表委員会（児童会）に提出

【代表員会で協議】



＜解決に向けての話し合い→解決方法の決定→実践＞

【実践1：因島南小学校いじめ防止集会】



【実践2：委員会の常時活動と提起】



【実践3：児童集会でレク】



【実践4：全学級共通の係】

(はきもの揃え係)



※実践化では、自己有用感・肯定感、意義目的を理解し役割を自覚する力、責任ある行動力の育成を目指す。

②【元気のよい挨拶が飛び交う学校】

(児童会「あいさつ発掘カードの取組」)



③【無言で隅々まで掃除ができる学校】



【6年生リーダーシップの発揮】

(遠足)



(清掃指導)



(自学自習)



取組の課題・創意工夫『キーワード：話し合い活動の充実』

- ・取組の過程において、大切にすることは課題の解決に向けての話し合い活動を重視したことである。課題の解決の方向性や方法を協議する活動の充実は、よりよい学校生活を創造する態度や仲間と協働して解決しようとする態度の育成に繋がった。

取組の成果（効果）『キーワード：学校生活の充足感』

- ・6年生は最高学年としての役割や学校の形成者としての役割を自覚しリーダーシップを発揮することで、自尊感情を高めた。(アセス)
- ・取組の結果として、「あいさつを自分から大きな声で相手に伝えている」の児童アンケート肯定的評価は、84.4%と目標値に近づき、挨拶に対する気運が高まった。また、学校全体として自分から挨拶をする児童が増えてきた。無言掃除を校風に引き上げる取組での肯定的評価は84.6%と昨年同期と比較して大幅な数値的な上昇が見られた。児童の学校生活への満足感は上昇している。

今後の展開『キーワード：自治的活動への引き上げ』

- ・児童は発見した課題を解決する手順を知った段階である。今後はよりよい学校生活を仲間と共有するために生活のきまりやルールを児童自らが修正し、創り上げていく活動ができるように支援していく。

他校へのアドバイス『キーワード：意識付け・共有』

- ・児童の主体性を育成するには、児童と課題を共有し、実行のための計画（方策の思考）、振り返りを意識付けることが重要である。
- ・全児童による課題（取組の存在意義を含む）の共有化と児童との取組の方法の共通理解は取組を推進するうえで必要不可欠である。